

■Gunma×EITグローバルアウトリーチプログラム FAQ

2026年3月

NO	質問内容	回答
1	・ エントリーの締め切りはいつですか？	・ エントリー締め切りは5月上旬を予定しています。4月以降、エントリーフォームを公開します。本日のイベントに参加申込みいただいた方には個別にメールさせていただきます。
2	・ エントリー費用はかかりますか？	・ エントリー費用は一切かかりません。
3	・ 事例紹介イベントに参加していませんが、プログラムエントリーすることはできますか？	・ 本イベントに参加されていなくても、プログラムにエントリーすることは可能です。 ・ 事例紹介イベントのアーカイブ動画をご希望される方は、群馬県スタートアップ推進室に個別にご連絡ください。
4	・ 本プログラムの参加対象である「群馬県に関連する企業」とはどのような企業ですか？	・ 「群馬県に関連する企業」とは、群馬県に本社を構える企業のほか、群馬県内に製造拠点や研究開発拠点、支店、店舗、営業拠点があるなど、幅広く捉えています。もし、事前に対象か否かを確認されたい場合は、群馬県スタートアップ推進室までお問い合わせください。
5	・ エントリー後に選考などはありますか？	・ プログラムの予算の都合もあり、参加いただく企業には限りがございます。 ・ 選考の流れとしては、エントリー後、6月のワークショップまでに、いただいた情報や個別ミーティングを通して、8社程度に絞らせていただきます。その後、課題やチャレンジの内容を踏まえ、ワークショップ後に4社程度に絞らせていただく想定です。
6	・ プログラムに参加後、発生する可能性がある費用はどのようなものがありますか？	・ プログラム期間中、通訳のほか、技術的な側面を海外側に伝えるコーディネータを群馬県側でご用意させていただきますので、基本的に費用はかかりません。もし予算が発生するとすれば、マッチング後、具体的な共同開発や実証実験などを実施する際に（どこまでやるかにもよりますが）費用がかかってくるのが想定されます。 ・ 群馬県としては「ぐんま未来共創トライアル補助金」など各種支援事業の活用などを視野にアフターフォローをさせていただきます。
7	・ プログラム参加企業の選定基準はどのようなものがありますか？	・ 最も重要な基準は、モチベーションです。半年間のプログラムにコミットしていただきますので、スタートアップと連携・協業するための本気度は確認させていただきます。 ・ また、マッチングの確度を向上させるため、プログラムに対応する社内の理解や人員体制についても確認させていただきます。より成功に導くため、可能であればプログラムに対応する人員を確保していただくことをおすすめしますが、常時このプログラムに対応しなければならないほどの業務量は発生しない見込みです。チームとして対応いただくことで対応可能と思われれます。
8	・ このプログラムには、どの程度のコミットが求められますか？提供する時間や予算、取引などあればお伺いしたいです。	<p>・ プログラムは（エントリー後）5月から11月の約半年間となります。担当者の実働については、このプログラムを通して、何をどこまでやりたいのか、という点で業務量や稼働時間は変わってくると思います。</p> <p>・ 企業側で対応いただく工程としては以下が想定されますが、県ではこの期間（企業側の人的負担ができるだけ軽くなるように）県側で専門のコーディネートを付けてサポートさせていただきます予定です。</p> <p>4月 エントリーフォーム回答 5月 ワークショップに向けたアンケート入力、事前ヒアリング 6月 ワークショップ、各企業個別訪問 7月～8月 選定企業発表、企業同士の交流、スタートアップ選定手続きへの参加 9月～10月 スタートアップとの1on1オンラインセッション（1社につき3～4社程度） 11月（5日間） 欧州スタートアップの来県対応、企業視察、打合せ 12月 企業とスタートアップ間のフォローアップ</p>

9	<p>・6月に実施されるワークショップとはどのような内容となる予定ですか？</p>	<p>・ワークショップは6月中の3日間を予定しております。この期間、EITグローバルアウトリーチプログラムのチームメンバーが群馬県に来県し、エントリーいただいた企業とコミュニケーションを取らせていただきます。ワークショップの詳細な内容は調整中ですが、主に以下の流れを想定しています。</p> <p>■ 1日目：参加企業向け全体レクチャー（@群馬県庁） オープンイノベーション、異文化交流などの複数テーマ</p> <p>■ 2日目、3日目：参加企業個別訪問 ※2日間のうち1社2時間ほどお時間をいただきます。 EITメンバー、群馬県、コーディネータが訪問し、課題や今後のチャレンジなどについて丁寧にヒアリングさせていただきます。</p>
10	<p>・社内の課題解決や新規事業開発に対して、スタートアップの新技术を活用したいと考えていますが、現時点では、具体的な取組内容が定まっています。こうした状況でもエントリーは可能でしょうか？</p>	<p>・現時点、具体的な課題や実施したいことが絞り込めていなくても、エントリー後、ヒアリングやワークショップなどを通じて、詳しいお話をお伺いさせていただく中で、マッチングやオープンイノベーションに最適な課題を特定させていただきます。これこそが今回のEITグローバルアウトリーチプログラムを遂行するチームの専門的なノウハウが発揮される場所であり、企業のこれからのイノベーション戦略を作るサポートをさせていただきます。</p> <p>・すでに具体的な課題やスタートアップとの協業を通じて実現したいことなどが定まっていれば、よりマッチングの確度が高まりますし、これに加えて、EITグローバルアウトリーチプログラムチームによる新たな洞察、示唆を得ることが可能です。少しでも興味があればまずはエントリーをお願いします。</p>
11	<p>・EITが支援しているスタートアップの特徴を教えてください。</p>	<p>・EITは欧州地域全体でスタートアップ支援を行っており、1万社を超える先をサポートしています。例えば、製造業、ロボティクス、気候、環境、フード・アグリ、ヘルスケア、デジタルなど幅広い分野の各コミュニティとネットワークを構築しており、産業分野を限定しません。（したがって、今回のプログラムも特段分野を限定していません）</p>
12	<p>・そもそもなぜスタートアップと協業しなければならないのか？あえて海外（欧州）のスタートアップと連携すべき理由を教えてください。</p>	<p>・スタートアップの強みは、変化する市場ニーズを敏感に察知するスキル、新しい技術やアイデア、柔軟でスピーディな対応力です。こうしたスタートアップと協業することにより、自社だけでは解決できない社内の課題解決や市場動向を先取りした新製品開発などにつなげることが期待できます。現在、日本国内はもちろ、世界各国でこうしたスタートアップとのコラボレーションを活用したイノベーション創出と競争力強化を目指す企業が増加しています。</p> <p>・欧州のスタートアップは、「ディープテック」「サステナビリティ」「AI」「ヘルスケア」など、欧州が世界をリードしている主要産業に深い知見を持っており、こうしたテーマに関連した新しい技術を探している企業にとっては、日本では出会うことができないスタートアップとつながる絶好の機会となります。</p> <p>・また、欧州のスタートアップと協業することで、新たな市場や多様な人材獲得が可能となり、企業のグローバル競争力が強化されます。さらに、欧州のスタートアップは、研究機関や大学との強い結びつきを持っていることが多く、EUが支援する科学技術メニューの情報収集にもつなげることが期待できます。</p>
13	<p>・このプログラムに参加すると、欧州地域の大企業とのマッチングも期待できますか？</p>	<p>・本プログラムは欧州スタートアップと群馬県関連企業とのマッチングプログラムです。したがって、このプログラムの中で欧州地域の大企業をご紹介する内容とはなっていません。ただし、プログラム参加後、欧州とのつながりを通じて現地の大企業など、新たなビジネスがはじまる可能性もあるかと思えます。</p>
14	<p>・EITグローバルアウトリーチプログラムと「Calling2Scale Gunma」の違いは何ですか？</p>	<p>・「Calling2Scale Gunma」とは今回、群馬県で実施されるEITグローバルアウトリーチプログラムのネーミング（愛称）です。EITグローバルアウトリーチプログラムは毎年、世界の各地域で実施されている国際的なイノベーションプログラムであり、実施の都度、ネーミングが付けられています。</p> <p>・なお、「Calling2Scale Gunma」とは、欧州と群馬県の双方がスケール（成長）するためのお声かけ、募集という意味となります。</p>

15	<p>・これまで海外の企業やスタートアップとの取引がありません。欧州と日本では商習慣や文化の違い、距離（時差）があり、コミュニケーションが難しいのではないのでしょうか？</p>	<p>・海外との取引やコミュニケーションの経験がなくても問題ありません。プログラム期間中は群馬県側で通訳を用意させていただきますし、6月に予定しているワークショップで、商習慣や文化の違いを学ぶ機会を設けたいと思います。</p> <p>・距離という関係では、どうしても時差（欧州とは7～8時間）が生じてしまいますが、オンライン会議ツールを使えば問題なくやり取りができます。会議の際には、差し支えない範囲で群馬県がファシリテートさせていただきます。</p> <p>・その他、海外とのやり取りで生じるお困りごとについて、あらゆる段階で個別にサポートさせていただきます。</p>
16	<p>・海外の企業との取引になるため、知的財産や秘密保持契約（NDA）などの対応を懸念しています。プログラム中、こういった点での支援はあるのでしょうか？</p>	<p>・知的財産に関する懸念点については、専門機関と連携してプログラム中で各種ご相談を承ります。</p> <p>・例えば、群馬県内であれば「群馬県知財総合支援窓口（INPIT）」に無料でご相談いただけます。専門的な相談や高度な相談については、弁理士や弁護士等の知財専門家によるサポートも行っております。</p> <p>・また、EIT側でも知的財産に関する専門のセクションを有しており、都度、助言を受けたり、相談することが可能です。</p> <p>・なお、本プログラムの参加企業向けに、群馬県では知財セミナーや個別支援なども検討しております。</p>
17	<p>・エントリー申込み前に、プログラムの詳細な説明を受けた場合はどうすればよいですか？</p>	<p>・群馬県スタートアップ推進室から個別にご説明させていただきます。以下連絡先までお気軽にお問い合わせください。また、EIT側に関するご質問についてもよろこんでお受けいたします。</p> <p>群馬県スタートアップ推進室 電話番号 027-226-3317（担当：南齋）</p>